

報道関係者各位

開催まで、あと3日！ 3日間のアートイベント 「LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイベント」

2019年7月14日(日)～7月16日(火)／東京ミッドタウン・ホール A

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS は、7月14日(日)より3日間、アートを通じて多様性の意義を伝える「LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイベント」を六本木・東京ミッドタウン・ホール A で開催いたします。本展は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年夏に、約2か月にわたって開催する展覧会「LOVE LOVE LOVE LOVE 展」のプレイベントで、翌年の展覧会に向け、国内外のさまざまな作家によるトークイベントやワークショップ、作品展示などを実施します。

トーク イベント

作家、クリエイターなど、幅広いジャンルで活躍するゲストを迎え、トークイベントを開催。ここで生まれたアイデアやヒントを来夏の展覧会へつないでいきます。※手話通訳／文字通訳あり

エリーローズ × やついいちろう出演のトークイベントが追加決定！

■ 「愛、語っちゃおうぜ！」 7月14日(日)10:30～11:30

エリーローズ



イギリス人の母(スタイリスト)と日本人の父(フォトグラファー)の間に生まれ、英語と日本語のバイリンガル。ティーン誌などを経て、現在は「sweet」「Gina」など様々な女性ファッション誌に出演。2008年から始めたDJ活動も人気を呼び、DJ活動は年間60本以上。

やついいちろう (エレキコミック)



1974年三重県生まれ。1997年にエレキコミックを結成。2010年にはTBS「キングオブコント」で決勝進出。2012年には、お笑い・ミュージシャン・アイドル・文化人といったジャンルレスの「YATSUI FESTIVAL!」のオーガナイザーをつとめる。

領域を超えて、多様なジャンルの人々と交わりながら、関係性を築き、場を生み出しているお二人の活動から、それぞれの“愛”について探る。

■ 「愛についての2、3の断章」 7月15日(月・祝)13:00～14:30

小野正嗣(作家/早稲田大学文学学術院教授)



1970年大分県生まれ。小説に『にぎやかな湾に背負われた船』、『夜よりも大きい』など、訳書にマリー・ンディアイ『ロジャー・カルプ』、アキール・シャルマ『ファミリー・ライフ』などがある。2015年、『九年前の祈り』で第152回芥川賞受賞。

©講談社

西 加奈子(作家)



1977年テヘラン生まれ。カイロ、大阪で育つ。2004年『あおい』でデビュー。2007年『通天閣』で織田作之助賞、2013年『ふくわらい』で河合隼雄物語賞、2015年『サラバ!』で直木賞受賞。

小澤慶介(キュレーター/本展キュレーター)



1971年生まれ。現代アートの学校「アート・スクール」主宰、インディペンデント・キュレーター。アーカスプロジェクトのディレクターなどを兼務。

第152回芥川賞受賞作家・小野正嗣氏、第152回直木賞受賞作家・西 加奈子氏を迎えて、「愛すること」をひもとく。お二人の作品や考えに触れながら、「愛」という大きなテーマを照らし出すいくつかの考えを探る。

作品 展示

多彩なアート作品
計 73 点

2020年の出展作家から16組の作品を展示。表現の領域や性別、世代を超えた作家によるドローイングやオブジェ、アニメーション、パフォーマンス映像など、計73作品を展示。



ピーター・マクドナルド《Zen Bubbles》2010年
Courtesy of the artist and GALLERY SIDE 2



井村ももか《オレンジの玉》2014年
Courtesy of the artist and ATELIER YAMANAMI

<その他出展作家>

岡元俊雄(滋賀県出身) / 小林 覚(岩手県出身) / 清水千秋(滋賀県出身) / 砂連尾 理(大阪府出身) / 杉浦 篤(埼玉県出身) / 高田安規子・政子(東京都出身) / 寺口さやか(広島県出身) / 似里 力(岩手県出身) / 西尾美也(奈良県出身) / 納田裕加(埼玉県出身) / 伏木庸平(東京都出身) / 松井智恵(大阪府出身) / 松本 力(東京都出身) / 宮川佑理子(埼玉県出身)

ワーク ショップ

東京 初出張!

山形県の“超”児童施設「キッズドームソライ」が東京に初出張。さまざまな素材や道具を自由に使って、ものづくりを体験できるワークショップを開催。オリジナルトートバッグや缶バッジなどもつくれ、つくった作品はすべて持ち帰れます。
※3日間開催、参加無料(事前申し込みなし) ※トートバッグは数量限定。

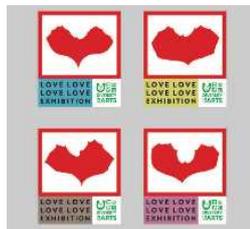


インタラクション 体験

オリジナル
ステッカープレゼント

本展のメインビジュアルの、ふしぎなかたちのハート。体をつかって自分だけのハートを形づくれる体験展示。また、画像をSNSに投稿すると、本展オリジナルステッカーをプレゼント。

■ Twitterアカウント: @LOVE4EXHIBITION / Instagramアカウント: LOVE4EXHIBITION



※本展の内容は予告なく変更される場合があります。

「LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイベント」開催概要

- 期 間：2019年7月14日(日)～7月16日(火)10:00～19:00(最終日は17:00まで)※入場は閉場の30分前まで
- 会 場：東京ミッドタウン・ホールA (東京都港区赤坂 9-7-2 ミッドタウン・イーストB1F)
- アクセス：都営大江戸線「六本木駅」8番出口より直通
東京メトロ日比谷線「六本木駅」より地下通路直結
- 入 場 料：無料
- 主 催：日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS



2020年「LOVE LOVE LOVE LOVE 展」について

LOVE LOVE LOVE LOVE 展は、2020年夏、東京オリンピック・パラリンピックの開催時期にあわせて、お台場の船の科学館（東京国際クルーズターミナル駅）を会場に、約2ヵ月にわたり開催する大規模な展覧会です。国内外から、およそ40組の障害のあるアーティストと現代美術のアーティストを迎え、ドローイング、オブジェ、アニメーション、パフォーマンス映像や体験型の作品など、ジャンルを超えたさまざまな表現からなる1500点以上の作品を紹介するほか、多彩なプログラムを展開します。

今回のプレイベントでは、ボランティアスタッフの募集も開始。開催までの1年間、これから出会う多くの方々とともに、展覧会をつくり上げていきます。1年後の夏にご期待ください。



日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS プロジェクトについて

日本財団は、多様な個性に寛容なインクルーシブな社会の実現を目指し、「障害者の芸術文化」の領域への支援を行っています。多様性の意義と価値を広く伝えることを目的に、既成概念にとらわれない多彩な展覧会などの企画、積極的かつ横断的な情報発信を通じて、2020年、そしてそれ以降の「障害者と芸術文化」の発展に向けて取り組んでいます。

- ・日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 企画展 ミュージアム・オブ・トゥギャザー (2017年10月13日(金)～31日(火))
- ・日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 2020 ミュージアム・オブ・トゥギャザー サーカス (2018年9月13日(木)～17日(月・祝))
- ・LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイベント(2019年7月14日(日)～7月16日(火))
- ・LOVE LOVE LOVE LOVE 展(2020年夏)



【リリースに関する報道関係の方からのお問合せ先】

「LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイベント」広報事務局(平日 10:00～17:00)

担当: 倉澤・三樹・鎌倉

住所: 東京都千代田区紀尾井町 3-23

TEL: 03-3263-5622 / FAX: 03-3263-5623 / MAIL: press@lovelovelove.jp

※当日の観覧並びに取材ご希望の際は、添付の取材申請書を FAX もしくはメールでお送り下さい。

※広報画像をご希望の際は、添付の広報用画像データ申請書に必要事項を記載の上、FAX もしくはメールでお送り下さい。

「LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイメント」取材申請書

- 期 間: 2019年7月14日(日)~7月16日(火)10:00~19:00(最終日は17:00まで)
- 会 場: 東京ミッドタウン・ホール A 住所/東京都港区赤坂 9-7-2 ミッドタウン・イースト B1F

貴 社 名:	
貴 媒 体 名:	
所 属 部 署:	
カ メ ラ: (ムービー・スチール) / なし	
ご 芳 名 :	参加人数: 合計 名
取材ご希望日: 7月 日 (: ~ :)	
電 話 番 号:	FAX番号:
当日ご連絡先:	
E - m a i l:	
連 絡 事 項:	

【取材・撮影上の注意事項】

- ・本展の紹介以外の目的で撮影を行うこと、会期終了後および本件以外への転用・2次使用は一切できません。
- ・作品保護のため、イベント会場での照明・フラッシュのご使用はご遠慮ください。
- ・作品画像に関するご用命は広報事務局までお問い合わせください。

【会場】

東京ミッドタウン・ホール A
(東京都港区赤坂 9-7-2 ミッドタウン・イースト B1F)

※都営大江戸線「六本木駅」8番出口より直結

東京メトロ日比谷線「六本木駅」より地下通路直結

※地上よりご来場の際は、正面エスカレーターより

B1ホール入り口にお降りください。



【当日の連絡先】

当日ご取材希望のプレスの方は会場「プレス受付」へお申出ください。

倉澤携帯 : 080-5896-6052

三樹携帯 : 070-2196-5230



<個人情報の取り扱いについて>

ご記入いただきました個人情報は、弊社(弊事務局)のクライアントからの情報配信や連絡など必要最低限のリレーションのために使用いたします。

個人情報は弊社(弊事務局)のクライアントに、プリントアウトして提供することがあります。

その際は、クライアントに対し個人情報保護法の趣旨に則り安全に取り扱い管理することを要求しています。

また、許可なく業務委託先以外の第三者に個人情報を開示することはありません。その他の個人情報の取扱につきましては、<http://www.prk.co.jp/privacy.html#p03>をご参照ください。

個人情報に関する問合せ先: ビーアールコンピュータ株式会社管理部門まで TEL 03-3263-5621 FAX 03-3263-5623 E-mail p-info@prk.co.jp

広報用画像データ申請書

「LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイベント」広報事務局 行

FAX : 03-3263-5623 / MAIL : press@lovelovelove.jp

貴媒体名	貴社名	
ご担当者名	所属部署	
ご住所 〒		
TEL 番号	FAX 番号	E-mail
ご掲載・放映予定日	月	日

【広報画像】 ※ご希望の画像にチェックを入れてください。

①	②	③	④	⑤

<p>①伏木庸平 《言葉はわからなくても、この歌は私の胸を膨らませる》(部分) 2018-2019 年</p> 	<p>②宮川佑理子 《Untitled》 2013 年</p> 	<p>③小林覚 《埴生の宿(花はあるじ鳥は友)》 2009 年</p> 
<p>④西尾美也 《Self Select #65(Nairobi)》 2009 年</p> 	<p>⑤納田裕加 《のうだま》 2017 年</p> 	

■ 画像使用に際しての注意

- ・本展広報目的でのご使用に限ります。
- ・イベント名、会期、クレジットを必ず掲載してください。
- ・作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの加工・改変はできません。
- ・再放送、転載など 2 次利用をされる場合には、別途申請をお願いします。
- ・基本情報及び展示期間などの確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますよう、お願いいたします。
- ・掲載、放送後は必ず掲載誌、収録テープを広報事務局まで 1 部お送りください。
- ・上記の素材以外の作品画像が必要な場合は別途お問い合わせ願います。